



# 議題 1

報道機関 各位

記者発表資料

令和2年1月27日(月)

問い合わせ先：教育政策室

室長：野津

担当：瀧山

電話：829-1626

内線：3920

「『未来を拓くさいたま教育』推進プロジェクト」を開始します

さいたま市教育委員会では、「未来を拓くさいたま教育」推進プロジェクトを開始します。本プロジェクトは、第2期さいたま市教育振興基本計画の基本理念である「人生100年時代を豊かに生きる『未来を拓くさいたま教育』の推進」に当たって、「教育のちから」を最大化し、個別の事業実施では生み出せなかった未来につながる新たな価値を生み出し、効果的・効率的に教育行政を推進するものです。

## 記

### 1 目的

子どもたちにこれからの時代を生きるために必要な資質・能力をはぐくみ、地域コミュニティの核となる魅力ある学校づくりと、市民満足度の向上に資する持続可能で質の高い教育環境の整備を実現することを目的としています。

### 2 4つの方向性

#### 【方向性1】教育の質の向上・質的転換

義務教育学校設置を含む学校の適正配置と本市の強みを生かした教育の推進により、教育の質の向上・質的転換を実現します！

#### 【方向性2】教育施設の機能性・合理性の向上

学校プールの集約化や教育施設の複合化により、機能性・合理性の向上を実現します！

#### 【方向性3】地域コミュニティの核となる学校づくり

コミュニティ・スクールなど地域総がかりの教育の推進と学校施設の更なる地域開放により、地域コミュニティの核となる学校づくりを実現します！

#### 【方向性4】人生100年時代を見据えた教育環境整備

新たな学習ニーズに応える生涯学習の推進と、質の高い学びを提供する施設整備により、人生100年時代を見据えた教育環境整備を実現します！

## 議題1

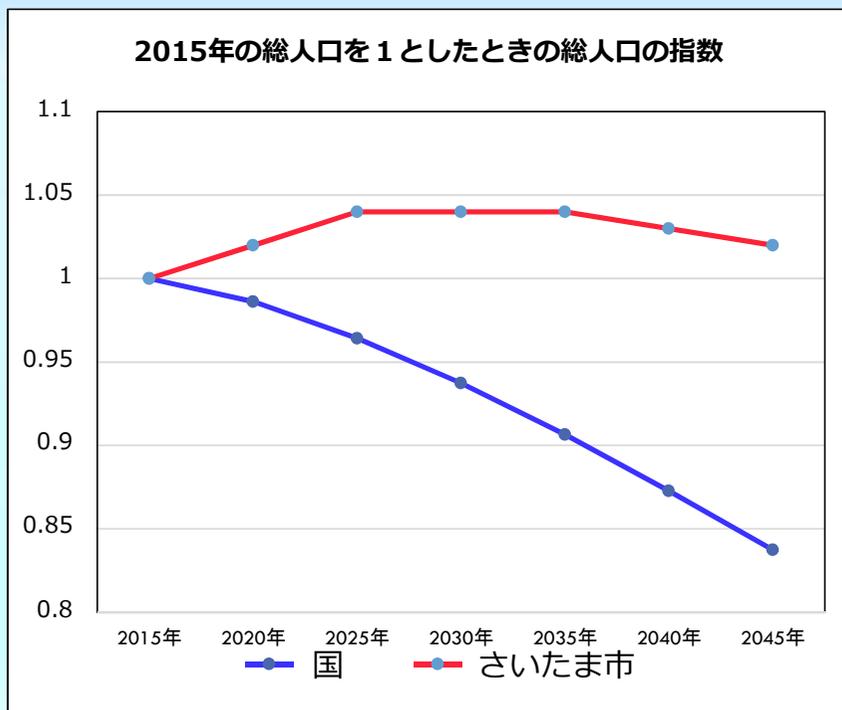
# 「未来を拓くさいたま教育」 推進プロジェクト

## を開始します！



# 1 背景

## 全国でトップクラスの転入超過数



【日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）  
国立社会保障・人口問題研究所を基に作成

| 順位 | 0~14歳 | 転入超過数<br>(人) | 15~64歳      | 転入超過数<br>(人) | 65歳~  | 転入超過数<br>(人) |
|----|-------|--------------|-------------|--------------|-------|--------------|
|    |       |              |             |              |       |              |
| 1  | さいたま市 | 1,260        | 東京都<br>特別区部 | 75,975       | 札幌市   | 2,416        |
| 2  | 流山市   | 818          | 大阪市         | 14,907       | 福岡市   | 783          |
| 3  | 柏市    | 692          | 川崎市         | 9,898        | さいたま市 | 527          |
| 4  | 町田市   | 627          | 横浜市         | 8,835        | 名古屋市  | 478          |
| 5  | 印西市   | 621          | さいたま市       | 7,558        | 仙台市   | 450          |

【年齢3区分別転入超過数の市町村順位（2018年12月31日現在）】  
総務省統計局（2019年1月）を基に作成

## 2 目的・方向性

### 目的

子どもたちがこれからの時代を生きるために必要な資質・能力をはぐくみ、地域コミュニティの核となる**魅力ある学校づくり**と、市民満足度の向上に資する**持続可能で質の高い教育環境の整備**を実現します！

### 4つの方向性

方向性1

教育の  
質の向上・質的転換

方向性2

教育施設の  
機能性・合理性の向上

方向性3

地域コミュニティの  
核となる学校づくり

方向性4

人生100年時代を  
見据えた教育環境整備

### 3 方向性1について

教育の  
質の向上・質的転換

- ➡ 義務教育学校の設置を含む  
学校の適正配置
- ➡ 未来を生きる子どもたちに必要な  
資質・能力の育成



### 3 方向性 1 について

教育の  
質の向上・質的転換

#### 学校規模の見通し

| 学校規模について               | 2019年度  | 2025年度          |
|------------------------|---------|-----------------|
| クラス数の多い学校<br>上位3校      | 1位 39学級 | 1位 <b>40</b> 学級 |
|                        | 2位 36学級 | 2位 <b>39</b> 学級 |
|                        | 3位 35学級 | 3位 <b>38</b> 学級 |
| クラス替えができない<br>学年がある学校数 | 12校     | <b>16</b> 校     |

令和元年度さいたま市教育委員会推計に基づき作成  
※校種は小・中学校  
※学級数は通常学級数

#### これからの教育で育成したい力

- ▶ Society5.0を見据えた基礎的読解力、  
数学的思考力など基盤的な学力や情報  
活用能力
- ▶ 豊かな人間性 共感力 創造性
- ▶ 想定外やジレンマと向き合い乗り越え  
やり抜く力
- ▶ 他者と協働しながら新たな価値を  
創造する力

- 【時代の要請】
- 地域の実情に応じた教育環境の整備
  - 社会や生活を大きく変えていく Society5.0を生き抜く力の育成

## 4 方向性2について

### 教育施設の 機能性・合理性の向上

➡ 学校プールを複数の学校で共用し  
市全体のプール数を削減

➡ 教育施設（学校や公民館等）の  
複合化による管理運営の効率化

学校プールの集約化  
～隣接する学校で1つのプールを共有して活用～



プールの維持管理費が2校分から1校分へ



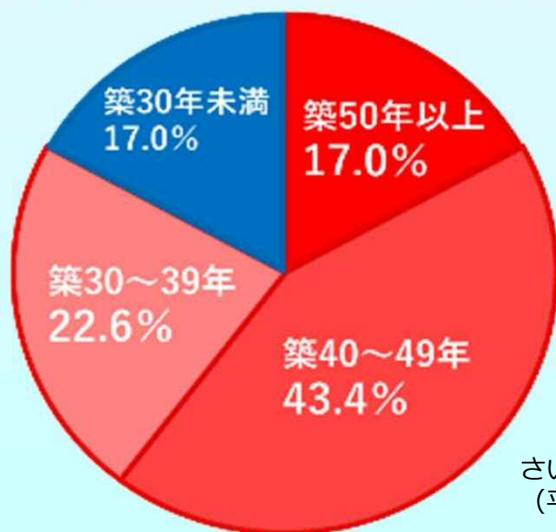
【複合化事例】  
与野本町小学校  
複合施設（鳥瞰図）

# 4 方向性2について

教育施設の  
機能性・合理性の向上

## 学校プールの現状

市立小・中学校 プール建築年数



さいたま市教育委員会調べ  
(平成31年4月現在)

市立中学校1校当たりの年間プール維持管理費（概算）

|        |            |
|--------|------------|
| ・水道料金  | 940,000円   |
| ・維持管理費 | 621,000円   |
| ・薬品代   | 100,000円   |
| ・改修費用  | 2,300,000円 |

※電気代等も別途必要

※改修費用は、1回の改修にかかる額を、1年当たりの額に換算したもの

合計 **3,961,000円**

- 【時代の要請】
- SDGsの推進、持続可能な教育環境の整備
  - 効果的・効率的な施設機能の整理・統合

## 5 方向性3 について

地域コミュニティの  
核となる学校づくり

➡ 安全・安心な環境のもと、学校・家庭・  
地域みんなで子どもをはぐくむ

➡ 学校施設の更なる地域開放

＜コミュニティ・スクール＞  
令和4年度までに全ての市立学校で本格実施



地域学校協働本部（SSN）  
による異年齢交流のようす

# 5 方向性3について

地域コミュニティの核となる学校づくり

## 学校・家庭・地域のかかわり

| 質問項目                            | 教職員   | 保護者   | 地域    |
|---------------------------------|-------|-------|-------|
| 子どもを育てるには、地域と学校の連携が必要だ          | 96.4% | 95.5% | 95.0% |
| 学校をよくすることで地域そのものがよくなる           | 58.6% | 73.3% | 72.9% |
| 地域（学校）が抱えている課題や、今何に困っているかを知っている | 14.0% | 9.4%  | 11.0% |

学校と地域に関するアンケート調査結果報告書より（令和元年11月）

## 体育施設に関する市民ニーズ

さいたま市内にどのようなスポーツができる施設があれば使いたいと思いますか（選択肢27項目中）

| 順位 | 施設              |
|----|-----------------|
| 1  | ウォーキング、散歩、ランニング |
| 2  | 筋力トレーニング        |
| 3  | 水泳、水中ウォーキング     |
| 4  | エアロビクス、ヨガ       |
| 5  | バドミントン          |

「令和元年度 第1回 さいたま市インターネット市民意識調査」に基づき作成

- 【時代の要請】
- 地域総がかりの教育の推進・地域コミュニティの強化
  - 学校施設の更なる地域開放

## 6 方向性4について

人生100年時代を  
見据えた教育環境整備

➡ 人生100年時代を輝き続ける  
力を育成する生涯学習の推進

➡ 市の魅力アップにつながる  
生涯学習関連施設の整備



子どもからシニアまで、  
みんながますます参加し  
たくなる魅力的な企画・  
運営を全ての生涯学習関  
連施設で進めます！



## 6 方向性4について

人生100年時代を  
見据えた教育環境整備

### 生涯学習の現状

さいたま市が「文化芸術に親しめるまち」となるために、特に力を入れてほしいと思うことはありますか

- 1位 美術展などの催しを充実させる
- 2位 博物館、コンサートホールなどの鑑賞用の**施設を充実させる**

「令和元年度 第1回 さいたま市インターネット市民意識調査」に基づき作成



【市立博物館】



【青少年宇宙科学館】

- 【時代の要請】
- 新たな学習ニーズに対応した生涯学習の更なる推進
  - 多様化・高度化・専門化する学習ニーズに対応した生涯学習関連施設の整備・充実



本市の教育が目指す人間像  
「世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人」  
の実現に向けて……

議題1 終了